第12講 【地球的課題編】人口・食料問題

PART1 世界の人口

Chapter1　世界の人口分布

目標

2000 年代の世界人口の推移を，数値で理解しよう。

世界の人口分布の概要を理解しよう。

1 世界の人口

・世界の人口は 2000 年頃に **60 億人**を突破し，それからは 1 年ごとに **1 億人**程度増加している。2020 年ならば，おおよそ〔　　　〕億人と考えられる。

・2020 年現在の年人口増加率は約 **1 %**と考える。80 億人の人口に対し 1 億人増加しているので，1 億 ÷ 80 億で計算される。

2 人口増加の変遷

・18 世紀：

〔　　　　　　　　〕により，西ヨーロッパや北アメリカ大陸で**人口**の**急増**が始まる。**農業生産性**の向上による〔　　　　〕の充足，**エネルギー供給量**の増加などが人口増加の背景。

・20 世紀後半：

アジア・アフリカ・ラテンアメリカを中心に，医療の発達や，衛生環境・栄養状態の改善により，**乳幼児**を中心とする**死亡率**の低下を背景とした〔　　　　　　　　〕が起こり，人口増加率が急上昇。1950 年頃には約 **25 億人**だった世界総人口が，20 世紀末には約 **60 億人**まで増加した。

・21 世紀：

21 世紀のうちに，世界の総人口は **100 億人**を超えると予想されている。人口が増えることで，〔　　　　〕・〔　　　　　　　　　　〕・**土地**などをめぐる競争が激化することが懸念されている。一方で，**高齢化**の進展などによって，人口が〔　　　　〕もしくは〔　　　　〕傾向にある国も。**日本**もその一つ。

3 地域別の人口の傾向

・地域別に人口の増減には特徴がある。

・人口増加率と〔　　　　　　　　　　　　〕（経済レベル）には相関関係が見られる。
１人当たりＧＮＩが低い国は人口増加率が〔　　〕く，**１人当たりＧＮＩ**が高い国は人口増加率が〔　　〕い傾向にある。

・例外が**中国**と**アメリカ合衆国**。中国は１人当たり GNI が〔　　〕く，人口増加率も〔　　〕い。**一人っ子政策**の影響。アメリカ合衆国は１人当たり GNI が〔　　〕く，人口増加率は先進国としては〔　　〕い。**移民**を多く迎え入れており，移民の出生率が高いことも理由。

地域	人口	人口の特徴
〔　　　　　〕	46.4億人	・古くから〔　　〕作が盛んだったため，歴史的に人口が多い地域。**人口密度**も〔　　〕い。 ・〔　　　　〕の総人口は約14.4億人で**世界一**だが，**一人っ子政策**の影響で人口増加率は高くない。 ・〔　　　　　〕の人口は，現在世界**第２位**の約13.8億人。**人口増加率**が〔　　〕く，人口数で中国を抜き第１位になることが予想されている。
〔　　　　　　　〕	13.4億人	・20世紀後半以降，人口が**急増**。**人口増加率**が特に高い地域。 ・アフリカ最大の人口（約2.1億人）とGNIを有する〔　　　　　　　　　〕では，人口増加率が極めて〔　　〕い。
ヨーロッパ（ロシアを含む）	7.5億人	・18世紀の〔　　　　　　　　〕期に人口が急増した地域。 ・近年は**出生率**の低下で〔　　　　　　　　　〕の傾向も。
北アメリカ（カナダとアメリカ合衆国）	3.7億人	・〔　　　　　　　　　　〕は世界**第３位**の人口大国（約3.3億人）であり，〔　　　　〕の流入により，先進国としては〔　　〕い**人口増加率**を保っている。
中南アメリカ（メキシコ以南）	6.5億人	・20世紀後半以降，人口が**急増**。 ・〔　　　　　　　　〕は，南米大陸全体の約半分の人口を有する**「人種のメルティングポット」**。人口は約2.1億人。
オセアニア	0.4億人	〔　　　　　　　　　　　　〕は人口約0.3億人の人口小国だが，移民を積極的に受け入れ，**人口増加率**は世界平均を超える。

統計年次は 2020 年。『データブック オブ・ザ・ワールド』により作成。

まとめ

2000 年頃 60 億人を突破し，年に約 1 億人ずつ増加している。
アジアに世界人口の約６割が集中。中国とインドの人口規模が大きい。

Chapter2　人口ピラミッドから考察する各国の人口動態

目標
人口増減の基本となる考え方を理解しよう。
現在の日本の人口構成は，何型の人口ピラミッドだろう。

1　人口増減の考え方

・**人口増減**は，〔　　　　〕増減と〔　　　　〕増減の和で示される。

・**自然増減**は，〔　　　　〕数と〔　　　　〕数の差。地球外からやってくる人はいないので，地球全体の人口増減は**自然増減**に等しい。**大陸**や**国**別の人口変化は〔　　　　〕増減を主に考える。

・**社会増減**とは，〔　　　　〕数と〔　　　　〕数の差。国を単位とする場合は，**移民**や**難民**の移動がこれにあてはまる。**国内**の都道府県や市町村の人口変化については，〔　　　　〕増減を主として考える。

2　人口ピラミッド

・〔　　　　　　　　　　〕とは，ある国や地域の人口を**男女別**，**年齢別**に表したグラフ。

・縦軸が年代，横軸が全人口における年代の割合を示す。

・経済が成長するに伴って，①〔　　　　　〕型→②〔　　　　　　　　〕型→③〔　　　　〕型→④〔　　　　〕型に移行する傾向がある（**人口転換**）。

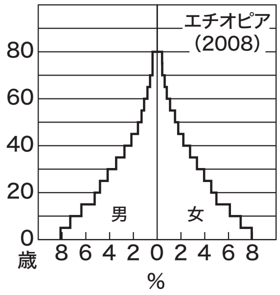
・人口ピラミッドは，国や地域の人口増減の傾向を反映している。

① 富士山型

・〔　　　　〕率と〔　　　　〕率がともに極めて高い**多産多死**の状態。

・**衛生環境**や**栄養状態**が整わず，**医療水準**も低いため，〔　　　　　　　　〕率が高く，平均寿命も短い。

・**サハラ以南アフリカ**の一部の経済発展が遅れた発展途上国などに見られる。

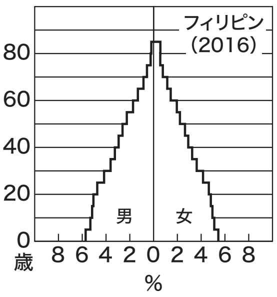


② ピラミッド型

・**衛生環境**や**栄養状態**が改善，**医療**の発達により，［　　　　　　　］率が下がり，［　　　　　　］が延びることで，全体の［　　　］率も下がる。

・**多産**は維持されるため，**多産少死**の状態となり，人口増加率が急激に上昇する（［　　　　　　］）。

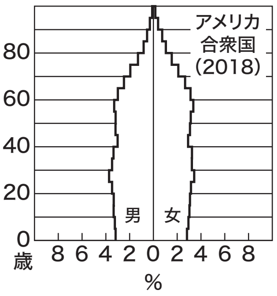
・多くの**発展途上国**はこの状態にある。



③ 釣鐘型

・社会が成熟してくると［　　　］の社会進出が進み，また，［　　　　　　］が普及する結果，出生率が**低下**する。［　　　］率と［　　　］率のつり合いがとれており，**少産少死**の状態。

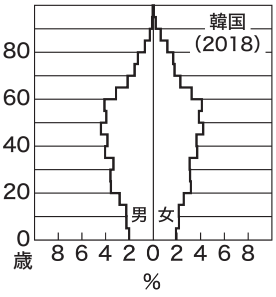
・高齢者を除いては，各年代に人口の差異があまり見られない。［　　　］国に多い。



④ つぼ型

・「**釣鐘型**」の状態がさらに進むと［　　　］率が［　　　］率より高くなる**少産多死**の状態となる。出生率が極めて低く，将来的には**人口減少**へとつながる。

・現在の［　　　］やヨーロッパの一部の国など。



まとめ　人口増減は，自然増減と社会増減の和で算出される。
「つぼ型」の人口ピラミッド。出生率が低下し，人口減少が始まっている。

第 12 講　PART1　確認問題

1　世界人口が約 60 億人となったのはいつ頃か。

① 1900 年　② 1950 年
③ 2000 年　④ 2020 年

2　西ヨーロッパや北アメリカで人口の急増が始まった時期として，最も適切なものはどれか。

① 15 世紀　② 18 世紀
③ 20 世紀　④ 21 世紀

3　現在，人口増加率が最も高い地域はどれか。

① アジア　② アフリカ
③ オセアニア　④ ヨーロッパ

4　現在，以下のうちで人口が最も多い地域はどれか。

① アフリカ　② 北アメリカ
③ 中南アメリカ　④ ヨーロッパ

5　かつて一人っ子政策を実施していた国はどこか。

① インド　② 中国
③ 日本　④ ロシア

6 アフリカ最大の人口を有する国はどこか。

① エジプト　② エチオピア
③ ナイジェリア　④ 南アフリカ共和国

7 人口増減のしくみとして正しいものはどれか。

① 人口増減＝自然増減＋社会増減
② 人口増減＝自然増減－社会増減
③ 人口増減＝出生数－死亡数
④ 人口増減＝流入数－流出数

8 経済成長に伴って生じる一般的な推移を考える場合，最も早くに見られる人口ピラミッドは，以下のうちどれか。

① つぼ型　② 釣鐘型
③ 富士山型　④ ピラミッド型

9 医療の発達などにより乳幼児死亡率が下がる一方で多産は維持され，人口爆発につながりやすい人口ピラミッドとして最も適切なものはどれか。

① 富士山型　② ピラミッド型
③ 釣鐘型　④ つぼ型

10 日本のような少子高齢社会を表す人口ピラミッドとして，最も適切なものはどれか。

① つぼ型　② 釣鐘型
③ 富士山型　④ ピラミッド型

第 12 講　PART1　確認問題 解答

1 解答：③

世界の人口は 1950 年頃に約 25 億人，**2000** 年頃に約 **60 億人**，2020 年頃に約 80 億人と推移している。

2 解答：②

18 世紀の産業革命を背景に，西ヨーロッパや北アメリカで人口の急増が始まった。

3 解答：②

アフリカでは，経済発展に伴う医療の普及，衛生環境・栄養状態の改善などによって乳幼児を中心とする死亡率が低下した一方で，出生率は高い水準を保つ国が多く，人口増加率が高い。

①：現在，人口が最も多い地域であるが，日本や中国など人口増加率が低い国もある。
③：人口増加率は世界平均を超えるが，アフリカの方がより高い。
④：人口増加率が低く，今後はマイナスになると推測されている。

4 解答：①

アフリカは人口約 13.4 億人で，アジア（約 46.4 億人）に次いで多い。

②：カナダとアメリカ合衆国で，人口約 3.7 億人。
③：メキシコ以南の中南米で，人口約 6.5 億人。
④：ロシアを含み，人口約 7.5 億人。

5 解答：②

中国では，1970 年代末から 2015 年まで一人っ子政策を実施していたが，近年は 2 人以上の子どもを持つことを認めている。

6 解答：③

ナイジェリアは人口約 2.1 億人で，アフリカでは 1 位である。

①：人口約 1.0 億人であり，アフリカでは 3 位である。
②：人口約 1.1 億人であり，アフリカでは 2 位である。
④：人口約 0.5 億人である。

7 解答：①

人口増減は，**自然増減**と**社会増減**の**和**である。

②：人口増減は，自然増減と社会増減の和である。
③：出生数と死亡数の差は，自然増減を表す。
④：流入数と流出数の差は，社会増減を表す。

8 解答：③

富士山型は，出生率・死亡率がともに高い発展途上国に見られる人口ピラミッド。経済発展に伴い，富士山型→ピラミッド型→釣鐘型→つぼ型へと次第に変化する。

9 解答：②

ピラミッド型のような多産少死の状態は，人口増加率が急激に上昇しやすい。

①：富士山型は一般に多産多死の状態。
③：釣鐘型は一般に少産少死の状態。
④：つぼ型は一般に少産多死の状態。

10 解答：①

つぼ型は，出生率が低く年少人口の割合が低いため，グラフの底辺の幅が極めて狭い形となる。また，平均寿命が長く老年人口の割合が高いため，グラフの上部の幅が広い形となる。

②：比較的出生率が高い先進国などに見られる人口ピラミッド。
③：特に開発が遅れた発展途上国に見られる人口ピラミッド。
④：多くの発展途上国に見られる人口ピラミッド。